

## 教師が「愉快」になれる授業について

okazaki 2020/10/17 Stu 19:00~20:30

学校マガジン『お・は』の編集人。子育て雑誌『ち・お』編集協力人。愛知教育大保健体育科卒、名古屋市内で教員を45年。定年後も小学校で非常勤講師（8年目）。フリースクールや乳幼児からの子育て・学校教育・男性の悩みにつきあう。現在YouTube「おかざき学級」で授業放映。67歳。書籍は「岡崎勝」でAmazon検索を

0) はじめに 「一斉授業」の意味 対面授業の意味、

### 1) シンプルだけど重要な基本

- ① 授業のはじまり方と終わり方：文化との出会い方
- ② 準備しすぎないで、ゆっくりと進めるとき：機器の危機
- ③ 現実 は予定と計画を乗り越える：授業しながら考える
- ④ 授業の方法・意義よりも、材料・ネタ。思いつき、チャレンジ、成り行きを大切に
- ⑤ 「楽しいだけでいいのだ」という大原則：板倉聖宣、遠山啓、森毅の論理から
- ⑥ 授業は文化の伝達と創造、ゆえに政治性を持つ

### 2) できる子=予定調和の枠組みから自由になること

- ① 「説明を丁寧にすれば分かるはず」という神話。「わからない」ことがわかること
- ② 理想は「できる子」が「できない子」に教えられる。常識が問われること。
- ③ みんなができたら怖い、みんながわかったら変。子どもの声は悪魔の声??

### 3) 学力、思考、主体的、理解などの教育言説を問い直せ

- ① 「望ましい子ども像」の陳腐さと不可解さ
- ② 「主体的で対話的な深い学び」の空虚さ：「体験したことありますか？」
- ③ 主体的と自発的服従、理解と効率優先、学力と競争 未成熟さを自覚せよ

### 4) できない子、遅れている子、障害を持った子と授業

- ① 子どもの多様性と付き合う 付かず離れずの距離
- ② 子どもの声を聞け、聞ける関係をつくれ、聞ける知性を持つ
- ③ 集団を相手にしながら、対関係を維持する時間と場所

以上

次回は 10月24日(土)午後7時より90分 教員人生について